

ITER向け部材受注に成功 板状の銅合金、高い技術力蓄積

三芳合金工業

金。1000度C超の高温にも耐えられ、超高温の熱を取り除くための高い熱伝導性とも両立させた。

三芳合金工業（三芳町）が10年ぶりに国際核融合実験炉（ITER）

る第1炉壁の国際入札に

この快挙は国会にも響き渡った。自由民主党の核融合エネルギー推進議員連盟は5月中旬、会合

でフレームを開き、ITERに関する民間企業の代表として三芳合金の萩野源次郎社長を講師として招請。

ア、トルコ注獲得までの経緯などをの海外4社聞いた。その後、核融合との競合で発電早期実現に向けた決受注を勝ち取った。供「高い技術力を蓄積し、取った。供「高い技術力を蓄積し、給するのはその技術力を基に欧州機クロムとシ関との契約獲得に成功しルコニウムた中小企業も存在する」を添加したと記載し、三芳合金の成板状の銅合金果を高く評価した。



自民党・核融合工推進議連の会合でITER部材受注などについて講演する萩野社長（右）